

集合族

1 まとめ

X を集合とし, 集合族 \mathcal{F} を $\mathcal{F} \subset 2^X$ (X の部分集合全体) とする.

定義 1

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A \in \mathcal{F} \implies A^c \in \mathcal{F}$
3. $A, B \in \mathcal{F} \implies A \cup B \in \mathcal{F}$

のとき, \mathcal{F} を有限加法族, 集合体, あるいは代数 (algebra) という.

定義 2

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A \in \mathcal{F} \implies A^c \in \mathcal{F}$
3. $\{A_i\}_{i=1}^{\infty} \subset \mathcal{F} \implies \bigcup_{i=1}^{\infty} A_i \in \mathcal{F}$

のとき, \mathcal{F} を σ -加法族, 完全加法族, σ -集合体, あるいは σ -代数 (algebra) という.

定義 3

1. $\{A_i\}_{i=1}^{\infty} \subset \mathcal{F}, A_n \subset A_{n+1} (n = 1, 2, \dots) \implies \lim_{n \rightarrow \infty} A_n = \bigcup_{i=1}^{\infty} A_i \in \mathcal{F}$
2. $\{A_i\}_{i=1}^{\infty} \subset \mathcal{F}, A_n \supset A_{n+1} (n = 1, 2, \dots) \implies \lim_{n \rightarrow \infty} A_n = \bigcap_{i=1}^{\infty} A_i \in \mathcal{F}$

のとき, \mathcal{F} を単調族 (monotone class) という.

定義 4

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A, B \in \mathcal{F} \implies A \cap B \in \mathcal{F}$

のとき, \mathcal{F} を π -族, または乗法族という.

定義 5

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A, B \in \mathcal{F}, A \supset B \implies A \setminus B \in \mathcal{F}$

$$3. \{A_i\}_{i=1}^{\infty} \subset \mathcal{F}, A_n \subset A_{n+1} (n = 1, 2, \dots) \implies \bigcup_{i=1}^{\infty} A_i \in \mathcal{F}$$

のとき, \mathcal{F} を Dynkin 族, または δ -族という.

定義 6

X_i 上の有限加法族 $\mathcal{E}_i (i = 1, 2)$ に対して

$$\mathcal{E}_1 \times \mathcal{E}_2 = \{E_1 \times E_2 \mid E_i \in \mathcal{E}_i (i = 1, 2)\}$$

とするとき, $\mathcal{E}_1 \times \mathcal{E}_2$ で生成される $X_1 \times X_2$ 上の有限加法族を

$$\mathcal{E}_1 \otimes \mathcal{E}_2 = \sigma_0[\mathcal{E}_1 \times \mathcal{E}_2]$$

と表す. $\mathcal{E}_1 \otimes \mathcal{E}_2$ は, $E_1 \times E_2 (E_i \in \mathcal{E}_i)$ の有限個の直和全体の集合と等しい.

定義 7

X_i 上の σ -加法族 $\mathcal{F}_i (i = 1, 2)$ に対して

$$\mathcal{F}_1 \times \mathcal{F}_2 = \{F_1 \times F_2 \mid F_i \in \mathcal{F}_i (i = 1, 2)\}$$

とするとき, $\mathcal{F}_1 \times \mathcal{F}_2$ で生成される $X_1 \times X_2$ 上の σ -加法族を

$$\mathcal{F}_1 \otimes \mathcal{F}_2 = \sigma[\mathcal{F}_1 \times \mathcal{F}_2]$$

と表す.

2 問 1

有限加法族の定義を

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A \in \mathcal{F} \implies A^c \in \mathcal{F}$
3. $A, B \in \mathcal{F} \implies A \cap B \in \mathcal{F}$

としても元の定義と同値であることを示せ.

3 問 2

σ -加法族の定義を

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A \in \mathcal{F} \implies A^c \in \mathcal{F}$
3. $A, B \in \mathcal{F} \implies A \cap B \in \mathcal{F}$
4. $\{A_i\}_{i=1}^{\infty} \subset \mathcal{F}, A_i \cap A_j = \emptyset (i \neq j) \implies \sum_{i=1}^{\infty} A_i \in \mathcal{F}$

としても元の定義と同値であることを示せ.

4 問3

$\mathcal{F}_\lambda (\lambda \in \Lambda)$ が有限加法族であるとき, $\bigcap_{\lambda \in \Lambda} \mathcal{F}_\lambda$ も有限加法族となることを示せ.

これより, 集合族 \mathcal{A} に対して

$$\sigma_0[\mathcal{A}] = \bigcap \{ \mathcal{F} \supset \mathcal{A} \mid \mathcal{F} \text{ は有限加法族} \}$$

とおくと, これは \mathcal{A} を含む最小の有限加法族となる. \mathcal{A} を含む有限加法族として特に 2^X がとれるので, このような共通部分がとれることに注意する. $\sigma_0[\mathcal{A}]$ を \mathcal{A} が生成する有限加法族という.

5 問4

$\mathcal{F}_\lambda (\lambda \in \Lambda)$ が σ -加法族であるとき, $\bigcap_{\lambda \in \Lambda} \mathcal{F}_\lambda$ も σ -加法族となることを示せ.

これより, 集合族 \mathcal{A} に対して

$$\sigma[\mathcal{A}] = \bigcap \{ \mathcal{F} \supset \mathcal{A} \mid \mathcal{F} \text{ は}\sigma\text{-加法族} \}$$

とおくと, これは \mathcal{A} を含む最小の σ -加法族となる. \mathcal{A} を含む σ -加法族として特に 2^X がとれるので, このような共通部分がとれることに注意する. $\sigma[\mathcal{A}]$ を \mathcal{A} が生成する σ -加法族という.

6 問5

X を非可算集合とする. $\mathcal{M} = \{ A \in 2^X \mid A \text{ あるいは } A^c \text{ が可算集合} \}$ とすると \mathcal{M} は σ -加法族となることを示せ. また, $\mathcal{M}_0 = \{ A \in 2^X \mid A \text{ あるいは } A^c \text{ が有限集合} \}$ とすると $\sigma[\mathcal{M}_0] = \mathcal{M}$ であることを示せ.

7 問6

R^n における開集合の全体, 閉集合の全体, コンパクト集合の全体をそれぞれ $\mathcal{O}_n, \mathcal{F}_n, \mathcal{K}_n$ とするとき,

$$\sigma[\mathcal{O}_n] = \sigma[\mathcal{F}_n] = \sigma[\mathcal{K}_n]$$

を示せ.

8 問7

可算無限個の元からなる σ -加法族は存在しないことを示せ. (元とは, 集合族の元(集合)のことを指す.)

9 問8

集合族 $\mathcal{A}, \mathcal{B} \subset 2^X$ が σ -加法族でも, $\mathcal{A} \cup \mathcal{B}$ は σ -加法族とは限らないことを示せ.

10 問 9

$\mathcal{F}_\lambda (\lambda \in \Lambda)$ が単調族であるとき, $\bigcap_{\lambda \in \Lambda} \mathcal{F}_\lambda$ も単調族となることを示せ.

これより, 集合族 \mathcal{A} に対して

$$\mathcal{M}[\mathcal{A}] = \bigcap \{ \mathcal{F} \supset \mathcal{A} \mid \mathcal{F} \text{ は単調族} \}$$

とおくと, これは \mathcal{A} を含む最小の単調族となる. \mathcal{A} を含む単調族として特に 2^X がとれるので, このような共通部分がとれることに注意する. $\mathcal{M}[\mathcal{A}]$ を \mathcal{A} が生成する単調族という.

11 問 10

集合族 \mathcal{F} が有限加法族かつ単調族であることと, σ -加法族であることは同値であることを示せ.

12 問 11

有限加法族 \mathcal{F} に対して, $\mathcal{M}[\mathcal{F}]$ も有限加法族であることを示せ.

13 問 12

有限加法族 \mathcal{F} に対して, $\mathcal{M}[\mathcal{F}] = \sigma[\mathcal{F}]$ であることを示せ.

14 問 13

Dynkin 族の定義を

1. $X \in \mathcal{F}$
2. $A, B \in \mathcal{F}, A \supset B \implies A \setminus B \in \mathcal{F}$
3. $\{A_i\}_{i=1}^\infty \subset \mathcal{F}, A_i \cap A_j = \emptyset (i \neq j) \implies \sum_{i=1}^\infty A_i \in \mathcal{F}$

としても元の定義と同値であることを示せ.

15 問 14

$\mathcal{F}_\lambda (\lambda \in \Lambda)$ が Dynkin 族であるとき, $\bigcap_{\lambda \in \Lambda} \mathcal{F}_\lambda$ も Dynkin 族となることを示せ.

これより, 集合族 \mathcal{A} に対して

$$\delta[\mathcal{A}] = \bigcap \{ \mathcal{F} \supset \mathcal{A} \mid \mathcal{F} \text{ は Dynkin 族} \}$$

とおくと, これは \mathcal{A} を含む最小の Dynkin 族となる. \mathcal{A} を含む Dynkin 族として特に 2^X がとれるので, このような共通部分がとれることに注意する. $\delta[\mathcal{A}]$ を \mathcal{A} が生成する Dynkin 族という.

16 問 15

集合族 \mathcal{F} が Dynkin 族かつ π -族であることと, σ -加法族であることは同値であることを示せ.

17 問 16

π -族 \mathcal{F} に対して, $\delta[\mathcal{F}]$ も π -族であることを示せ.

18 問 17

π -族 \mathcal{F} に対して, $\delta[\mathcal{F}] = \sigma[\mathcal{F}]$ であることを示せ.

19 問 18

$(X, \mathcal{F}), (Y, \mathcal{G})$ を可測空間とする. 写像 $f: X \rightarrow Y$ と集合族 $\mathcal{G}_0 \subset 2^Y$ に対して,

$$f^{-1}(\mathcal{G}_0) = \{F \in 2^X \mid f(F) \in \mathcal{G}_0\}$$

とおく.

$$f^{-1}(\sigma[\mathcal{G}_0]) = \sigma[f^{-1}(\mathcal{G}_0)]$$

を示せ.

20 問 19

$\mathcal{B}(\mathbf{R}^p) \otimes \mathcal{B}(\mathbf{R}^q) = \mathcal{B}(\mathbf{R}^{p+q})$ であることを

(1) 問 12 の結果を用いて示せ.

(2) 問 17 の結果を用いて示せ.